

霧が丘六丁目 まちづくりニュース

霧が丘六丁目まちづくり推進会

地域まちづくり組織 (横浜市 認定番号 S16001)



自分たちではじめよう。
もっと住みやすいまちづくり。



霧が丘六丁目まちづくり推進ニュース Vol.10



横浜市「地域緑のまちづくり」事業提案 担当メンバーが説明にまわりました。

前回もご紹介した横浜市「地域緑のまちづくり」助成への推進会の事業提案は、現在、二次審査に向けた取り組みを行っています。その一環として、説明担当メンバーが霧が丘六丁目にお住いの方々のお宅や事業所にかが、プランの趣旨説明を行いました。プランにご理解いただき、緑化の実施に協力して下さる方を募るため、プランの実現性を横浜市に示すための活動でもあります。

今回、霧が丘六丁目街づくり推進会が横浜市に提案しているのは、横浜みどりアップ計画の緑化推進事業に即して立てたプランです。このプランでは、すでに植えられている緑の植え替えは助成の対象に入らないため、新たに緑を植えられるスペースがあるお家や事業所を実地に調べ、70件以上のお宅を訪問させていただきました。結果は上々で、プランのシンボルツリーであるレモン植樹を中心に、協力して下さるお宅や事業所が30軒以上もお申し出くださいました。ありがとうございます！また、緑化には水やりが欠かせないため、雨水タンクの設置も事業助成の対象に含まれています。今回の協力者のなかで、雨水タンクの設置を希望された方は5件以上に上りました。

担当メンバーはまちの皆さんの前向きな反応に意を強くして、二次申請に取り組んでいます。このニュースをご覧になって、「我が家にはまだ訪問がないけれど、ぜひ訪問して説明してほしい」という霧が丘六丁目在住の

訪問時の説明に使用した案内(表面)

方がいらっしゃいましたら、佐東または高橋までご連絡ください。

佐東 (TEL: 090-7945-0644)

高橋 (Email: tetsuo-t@goo.jp)

横浜市のみどりアップ制度を利用して、あなたのお家を緑でいっぱいにしませんか？

無償、または
1割負担で

「霧が丘六丁目まちづくり推進会」ではいま、霧が丘六丁目をより魅力のある街としていく取り組みの一環として、横浜みどりアップ事業に応募を計画しています。ですがまだ計画中でもあり、最終的に審査を通過するためにも、皆様の積極的なご参加、ご協力を要請している段階です。

❀❀ どんな制度なの？ ❀❀

- ❑ 正式名称は「地域緑のまちづくり事業」といって、私たちが毎年納めている横浜みどり税を財源として、おもに横浜の都市部の緑を増やすことが目的の事業です。
- ❑ フランターの設置や、空地への花植えなど、工事を伴わないような小規模なものは100%の助成が受けることも可能です。業者の工事が必要なケースでも、必要額の1割を負担すれば工事費の9割が助成されます。

❀❀ 助成を受けるための条件は？ ❀❀

- ❑ とくにこれといった特別な条件はありませんが、①今より緑が増えること、②外から見える緑であること、③できれば1本は指定の樹種を含むこと、等を満たせばOKです。

❀❀ 無料でどんなことができるの？ ❀❀

- ❑ 今後、企画する予定の各種の緑化イベントを通して、ホームセンター等で売られているようなプランターに、草花や低木を植えて、家の周りに置くことができます。また、空地があれば助成を利用して、負担ゼロで植物を植えることもできます。

❀❀ 1割負担では、どんなことができるの？ ❀❀

- ❑ 主に工事を伴うような緑化は、土地所有者の1割負担が必要ですが、古くなったブロック塀を壊して緑の擁壁にしたり、コンクリートのタタキを一部カットして木を植えたり、水やり用の雨水タンクを設置する等の工事ができます。応用編としては、玄関周りをリフォームするような工事でも、今より緑が増える内容であれば、費用の9割が助成の対象になります。

❀❀ 専門家のアドバイスも受けられます ❀❀

- ❑ 「どうは言っても、どうやったら美しく緑を増やせるのかわからない」という方も安心です。庭園設計の専門家が相談に乗ってくれるイベントを予定しています。また、1割負担で設計を依頼して、玄関脇にミニ庭園をアレンジすることも可能です。

横浜市「地域緑のまちづくり」提案事業担当者の…

まちの皆さんとの楽しいやりとり公開！

「地域緑のまちづくり」提案事業の説明にまわった推進会メンバーのひとり佐東由章さんに、まちの皆さんとの楽しいやりとりを聞きました。その一部をご紹介します。
(個人が特定できないようにアレンジしていますが、やりとりの主旨はそのままで)



プランのシンボルツリーはレモン！

designed by Mariia_fr - Freepik.com

はじめは興味なかったけど、聞いてみたら、なかなかいい話じゃない。もっと聞かせて。

レモン、いいわね！
「レモンのまち霧が丘」って呼ばれるようになるかもね！

まわってみると、レモンを植えてるお宅は意外に多いね。レモン、流行っているのかな？

へえ、雨水タンクにも助成されるのかい。うちは植木が多いから、それは助かるなあ。

うちは年寄りだから、花壇だと草取りがたいへんなんだよ。植えるなら木だね。

緑のプロが相談に乗ってくれるのかい。それなら、1割負担で本格的にやりたいねえ。

ここは西日がきついから、大きな木を植えたらどうかしら。

そりゃ、楽しいね。でも、実を持ち寄れるようになるまで何年かかるかね。それまで生きてるかな。わっはっは！

Lemon Tree

レモンがなったら、地場産レモネードにして、お祭りでふるまいたいですね！



街かどニュース 今年も会えたリンゴのおじさん

今年も6丁目にリンゴ屋のおじさんがやって来てくれました。おじさんが来ると、「今年ももう終わりが近いなあ」とジンワリ思います。



おじさんは、青森県津軽郡田舎館村というところから、週末になると霧が丘にやってきます。いつも「リンゴ屋さん」と呼ばれているおじさんですが、実は「葛西さん」という立派な名前があるんですね。近所に親戚がいるので、霧が丘に来ている時は、そこに泊まるそうです。美味しいリンゴだけでなくお米、豆、味噌や漬け物なども持って来てくれます。

リンゴが売り切れる2月位まで、毎週末来てくれるおじさんですが、「最近は売れ行きが良いので早めに終わりになってしまいかも」とのこと。皆さんも笑顔の素敵なおじさんに会いに来ませんか？ 旧霧が丘第一小学校跡地前の通りにあるガレージを探してみてくださいね。

霧が丘六丁目まちづくり推進ニュース 発行：霧が丘六丁目まちづくり推進会
Vol.10 [2017年11月号] 問合せ先：090-7945-0644 (佐東)
<https://kirigaoka6choume.jimdo.com/>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

11 住み続けられる
まちづくりを



国連持続可能な開発目標SDGs 達成に向け取り組みます。